予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和6年12月17日（火）午前10時 議会委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）西野太一 （副分科会長）吉岡古都
門脇一男 津田幸一 中田利幸 錦織陽子
森田悟史 森谷司 渡辺穰爾

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】若林部長

〔商工課〕坂隠次長兼課長

【文化観光局】石田局長

〔観光課〕田仲課長 宮前観光戦略担当課長補佐 長門観光戦略担当係長

〔文化振興課〕大塚課長 林課長補佐兼文化振興担当課長補佐 原文化振興官

〔ねんりんピック推進課〕松本課長 寺本課長補佐兼企画運営担当課長補佐

【農林水産振興局】赤井局長兼農林課長

〔農林課〕山内課長補佐兼農政担当課長補佐 井田農林振興担当課長補佐

深吉土地改良担当課長補佐 野津農林振興担当係長

〔水産振興室〕宅和室長

【都市整備部】伊達部長

〔建設企画課〕遠崎課長 柳田課長補佐兼総務担当課長補佐 伊澤管理担当課長補佐

〔都市整備課〕本干尾課長 田居公園担当課長補佐 古田河川担当課長補佐

中原米子駅周辺整備推進室長

〔道路整備課〕山中次長兼課長 督永道路改良担当課長補佐

長谷川道路維持担当課長補佐

足立課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐

〔建築相談課〕神門課長

〔住宅政策課〕西村課長

【上下水道局】遠藤下水道部長

〔下水道企画課〕横木課長 田中総務担当課長補佐

〔営業課〕林次長兼課長

〔下水道整備課〕北村課長 伊藤管路維持担当課長補佐

〔下水道施設課〕山崎課長 瀬尾課長補佐兼施設維持担当課長補佐

【農業委員会事務局】古橋局長

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐

傍聴者

安達議員 稲田議員 大下議員 奥岩議員 田村議員 塚田議員 徳田議員

戸田議員 又野議員 松田議員 矢田貝議員

報道関係者 1 人 一般 1 人

審査事件

議案第 1 1 3 号 令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 8 回）のうち当分科会所管部分

議案第 1 1 7 号 令和 6 年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 2 回）

~~~~~

午前 10 時 04 分 開会

○西野分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、11 日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案 2 件について審査をいたします。

都市整備部所管について審査をいたします。

議案第 1 1 3 号、令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 8 回）のうち、都市整備部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

柳田建設企画課長補佐。

○柳田建設企画課長補佐兼総務担当課長補佐 議案第 1 1 3 号、令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 8 回）のうち、都市整備部所管部分の事業について御説明いたします。それでは、通知します。

画面では、議案・予算書等の歳出予算の事業の概要 20 ページになります。説明は歳出予算の事業の概要により説明させていただきます。

初めに、人件費についてでございます。画面 20 ページ、土木総務費人件費、道路橋りょう総務費人件費、次の 21 ページ上段、排水路総務費人件費、下段、都市計画総務費人件費、22 ページに参りまして、上段の建築指導費人件費、23 ページ上段の住宅管理費人件費、以上におきましては、人事異動などによる人件費の実績見込みにより補正予算を計上しております。

次に、22 ページに戻りまして、下の段を御覧ください。こちらは、県営街路事業負担金として、補正額 399 万 5,000 円を計上しております。こちらについては、鳥取県の事業費が増額となることに伴い、本市の負担額が増額となることから、補正予算を計上しております。

次に、繰越明許費について御説明します。画面で通知しますので、お待ちください。

こちらのほう、繰越明許費について御説明いたします。画面では、議案・予算書の補正予算書 8 ページになります。説明は令和 6 年度補正予算書により説明させていただきます。繰越明許費のうち、市道安倍三柳線改良事業費については、工事に伴う通行規制を行うに当たり、地元関係者との迂回路の調整に期間を要したため、米子駅北広場ウォークブル推進事業費は、地下埋設物の位置が想定と異なり、移設に係る協議及び工事に不測の日数を要したため、繰越明許費を計上しております。

次に、債務負担行為について御説明いたします。画面では次の 9 ページを御覧ください。

表の上から4行目、5行目の道路照明灯維持工事、道路維持補修工事、次の10ページに参りまして、5行目、6行目の安全施設等維持補修工事、排水路等維持補修工事、以上の4事業につきましては、それぞれ来年度の年間維持工事として、債務負担行為の設定により、早期の入札契約を行おうとするものです。

1つ前の9ページに戻ります。上から6行目、市道小波上大高線舗装補修工事から10ページに参りまして、上から4行目、道路新設改良事業までと、2つ飛ばしまして、7行目、市道内浜街道線側溝改修工事から9行目、側溝改修事業までについては、事業の平準化を図るため、令和7年度の事業を前倒しで発注しようとするものです。なお、分科会資料として、位置図を作成しております。Side Booksでは、委員会資料2番に保存してありますので、そちらを御参照ください。

説明は以上になります。

○西野分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないようですので、以上で都市整備部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午前10時09分 休憩

午前10時55分 再開

○西野分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第113号、令和6年度米子市一般会計補正予算（補正第8回）のうち、経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

山内農林課長補佐。

○山内農林課長補佐兼農政担当課長補佐 議案第113号、令和6年度米子市一般会計補正予算のうち、本分科会に付託されました経済部所管の事業について、一括してポイントを絞って説明いたします。

まずは、歳出予算の事業概要を御覧ください。人件費の関係を一括して説明いたします。資料15ページを御覧ください。上段、農業委員会事務局人件費、下段、農業総務費人件費、続いて、18ページ上段、林業総務費人件費、下段の水産業総務費人件費。続いて、19ページ上段、商工総務費人件費、最後に、25ページ上段の保健体育総務費人件費につきまして、これらは人事異動等に伴う人件費の実績見込みより予算を補正し対応するものでございます。人件費の関係は以上でございます。

次に、16ページ上段、果樹カメムシ類緊急防除支援事業でございます。これは、全国的に異常発生した果樹カメムシ類の被害を最小限に抑えるため、定期防除に加えて実施される追加防除費用の一部を鳥取県と協調して助成するものでございます。

次に、16ページ下段、県営土地改良事業負担金でございます。これは富益地区において県営で行っております圃場整備事業について、地下水対策による工事の増額変更が生じるため、市の負担額も増額するものでございます。

次に、17ページ上段、団体営土地改良事業でございます。これは、彦名干拓地区にお

いて鳥取県農業農村担い手育成機構が行っております基盤整備において、耕作土の改良による工事の増額変更が生じるため、市の負担額が増額となるものでございます。

次に、17ページ下段、和子牛価格緊急対策事業でございます。これは、和子牛価格の急落により、経営に影響を受ける和牛繁殖農家に対して、和子牛価格の急落の一部を補助するものでございます。

最後に、19ページ下段、インバウンド推進事業でございます。これは、米子空港と各国を結ぶ国際便の就航及び日台観光サミットの本市での開催など、インバウンドの動きが活発化していることから、外国人観光客の受入れ環境整備を図るものでございます。

なお、本日は、事業概要資料を別途配付しております。御覧のとおりです。

次は、予算書で説明します。令和6年度米子市補正予算書を御用意いただき、8ページを御覧ください。繰越明許でございます。表上から2つ目、かわまちづくり計画推進事業費でございます。これは、国の親水護岸工事が遅れている影響を受け、市の敷地造成工事の着手に遅れが生じ、年度内の完了が見込めないことから、繰越しをお願いするものでございます。

次に、9ページを御覧ください。債務負担行為でございます。表上から2つ目、土地改良施設等維持補修工事でございます。これは令和7年度に行う予定の年間維持補修工事分でございます。

続いて、表上から3つ目、土地改良事業でございます。これは令和7年度に行う予定工事の前倒し発注分でございます。また、工事箇所につきましては、別途位置図を添付しておりますので、そちらを御参照ください。

御覧のとおりで、説明は以上でございます。

○西野分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

森田委員。

○森田委員 事業の概要書のほうで質問させていただきたいと思います。17ページ下段の和子牛価格緊急対策事業のところ、いろいろ調べてみますと、様々な要因あると思うんですけども、どこまで下落が続くかっていうのはちょっと私も分からなかったところはあるんですけども、今回はこれでいいと思うんですけども、もしかすると何か継続的な支援が必要になってくるというようなことも想定されるのかなというふうに考えまして、もし御見解があれば伺いたいと思います。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 今後も下落傾向に、年末に向けて和牛の価格も上昇はしてきておりますが、物価高等によって、買い控え等が発生するようであれば、当然、下落傾向が続くのではないかと考えております。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 下落傾向が続くというところで、肥育農家さんの採算性等も考えますと、なかなかこの和子牛の価格っていうのも上がってきにくい部分はあるのかなというふうに思いますので、ぜひ、現場の方の声を聞きながら、適切にそちらは対応していただきますようお願いしておきたいと思います。

続きまして、ページめくって、19ページ下段のインバウンド推進事業のところ、受

入れ環境を整備するために補助を出すというようなところでして、この受入れ環境整備に対する補助の対象経費となるようなものはどのようなものがあるか、伺いたいと思います。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 今回、受入れ環境整備について、幅広くインバウンド受入れの環境整備に係る補助をしたいと考えております。具体的には、例えば外国語メニューの整備であったり、あるいはウェブサイトの外国語対応など想定されておりますけれども、幅広く補助をさせていただきたいという具合に考えております。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 幅広くやっていただくということだったので、それはそれとして、キャッシュレスの部分とかも、ヨーロッパのほうとかですと、クレジットカードのタッチ決済が主流だったりしますので、そういうキャッシュレスの部分とかも対象の経費になるのかなというふうに理解をさせていただいたんですけども、それで、この特設サイトをつくっていただくというところで、この特設サイト、インバウンド向けのサイトになると思うんですけども、対応言語っていうのがどういった言語になるのかっていうところと、あと、掲載の期間といいますか、どの程度、特設サイトを掲載する予定なのかというところをまず伺いたいと思います。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 対応言語について、現在、4か国語を想定しておりまして、英語、あとは韓国語、中国語の繁体字、中国語の簡体字というところを想定しております。

特設サイトにつきましては、1月中から2月初め頃で準備を進めまして、2月中に公開しまして、期間については、ちょっとはっきりとは決めてないんですけども、2月中から公開っていうことで考えているところでございます。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 期間決めてないというところで、特設サイトということなので、もしかしたら期間区切ってやるのかなというところを思ったりはしたんですけども、このサイトの維持管理もお金がかかるっていうところなので、ぜひ、戦略的な広報をお願いしたいと思ってはいたんですが、それで、今回、この特設サイトに掲載できるのが補助対象になった方を特設ウェブサイト等で発信するっていうことだったんですけども、インバウンド向けに特設サイトをつくるということなので、実際にモデル店舗の支援を受けていない方でも、実際にそれなりの環境整備されてる企業さんとかお店っていうのはあると思いますが、そういった方を一緒に紹介するっていうお考えがあるのか、お伺いしたいと思います。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 今回の事業を使われて、整備をされない店舗にでも、そういったインバウンド環境の整備が行われている店舗であれば、今回の特設サイトで同じように発信していきたいと考えております。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 ありがとうございます。そういう補助金等なくても頑張っていたいという企業さんもありますので、ぜひ発信していただきたいなというふうに要望しておきたいと思います。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

錦織委員。

○錦織委員 私もこのインバウンド推進事業でお尋ねしたいんですが、これの実施要綱っていうか、別紙の1枚のものをを見ると、米子駅周辺を中心とした市内飲食店って書いてあるんですけども、わざわざ米子駅周辺って書いてあるっていうことは、何かしら米子駅周辺を活性化したいということが頭にあるのかなと思うんですが、どの辺りのほうのことを考えておられるのか、この表現だと、例えば商工中金のあの辺のあたりぐらいのことなのかなって一方では思ったりするんですが、どうなんでしょうか。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 このたび、インバウンドの宿泊されるお客様っていうのをある程度ターゲットとして考えておりますので、宿泊施設が集積しております、その周辺という具合にちょっと今、考えておるところでございます。以上です。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 それを米子駅周辺というふうに見ておられるっていうことですね。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 そのとおりでございます。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 例えば、15店舗程度ということなんですけれども、その宿泊が集中してないところでも、今、まちづくりの観点から角盤町辺りなども結構力入れてますけれども、そういうところが手挙げされても、別にそれはオーケーなわけですね、条件に合えば。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 基本的には米子駅周辺って考えておりますけども、角盤町辺りっていうのも視野に入れながら取組は進めていきたいと考えております。以上です。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 それでも、1件が上限20万ということで補助されるので、この際、やりたいていいうところは、あんまり制限なくやってもらいたいなっていうのが、私の要望です。それで、この公募っていうのは、いつからされるんでしょうか。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 来年1月頃から開始したいという具合に思っております。以上です。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 分かりました。

次、行ってもいいですか、ほかのところも。

○西野委員長 はい。

○錦織委員 果樹カメムシのことについて、16ページなんですけど、これは大量に発生してるっていうことなんですけど、これによって、農業被害はどのくらいあるんでしょうか。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 正確な数字は持ち合わせておりませんが、柿に関しては、6割から7割の被害を受けるといふふうに聞いております。梨のほうは、袋をかけておりますので、そこまでの被害はないんですけど、やはり被害は発生しておるといふことで、防除のほうをさせていただいております。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 柿だと6割から7割ってというのは、例えば農家の減収についてはどのくらいっていうふうに、そういう額とか何かは分からないのでしょうか。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 現在、数字は持ち合わせておりません。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 持ち合わせてないってことですけども、これはどこかで数字が分かるものなんでしょうか。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 取りまとめのほうはJ A鳥取西部さんのほうでしておられると思っております。

○西野分科会長 錦織委員。

○錦織委員 もし分かったら、また後でも教えていただきたいというふうに思います。

それで、この農家さんは、こうした被害を受けられて、このくらいの、市が6分の1補助なんですけども、この防除の効果のほどはどういう、これまでの経験からいうと、どの程度の回復っていうか、防除できるものなんでしょうか。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 梨につきましては通常18回、柿につきましては通常13回くらい防除をされております。それにプラスして2回分された場合については、補助をさせていただくようにしておりますので、その2回分でどれだけ被害が減ったかどうかというのはちょっと定かではありませんが、防除したらただけの効果はあるかと考えております。

○錦織委員 分かりました。

○西野分科会長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

吉岡委員。

○吉岡委員 インバウンド推進事業に戻りまして、そもそも論になりますけど、この外国からわざわざ米子に来られる観光客の、外国人の方のペルソナというのは、どのように分析をされていますでしょうか。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 狙うべきターゲットということでお話をさせていただきたいという具合に思っております。やはり狙っておりますのは、直行便のございます韓国、香港、それから今後、直行便の就航、見込まれております台湾、そういった辺りが中心になっていくのかなという具合に考えております。そういったお客様に受ける、やはり訪日外国人の調査でも食というのが第一に上がっておりますので、旅行客が選ばれる、そういった点を今回この事業でしっかりと発信しながら、インバウンド、観光客、誘客を図ってまいりたいと、そういうふうに考えているところでございます。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 私も韓国にレポートしておりまして、韓国の方から見たら、私はインバウンド客ということになると思うんですが、そういうふうにレポートしてますと、ソウルでは

なくて、地方都市に行ってみたい、日本人観光客のあまりいないところに、ディープなどところに行ってみたいという思いがやはりあるので、今後はそういったところに行ってみたいなあと思ったりもします。なので、米子に来られる観光客の方というのは、もしかしたら、かなり旅慣れておられる方、あちこち都会は行って、行き尽くした方ではないかなと思います。そういった方が来られるということで、今でもかなり翻訳アプリが非常にAIを使って発達しておりますので、ほとんど、私も片言では言葉ができるんですけど、言葉ができなくても、一瞬でテキストなんかも写真に撮ると日本語にきれいに翻訳してくれるので、あんまり外国人対応みたいなことがなくても、旅をするのに困りませんので、むしろ、現地の方が、現地の人しか行かないようなところに行きたい、観光客対応でないところに行きたいという思いが年々高まっておりますので、むしろ、こういったキャンペーンを張って、例えばポスターが貼ってあって、インバウンド向けみたいなのは私だったら避けるなというふうになってしまうので、そういった来られる方がどのようなところを目的にして来られるのかということを中心に視野に入れた上で、推進事業というのはしないといけないんじゃないかなというふうに思っているのですが、そういった方が、どういう想定をしているかということを知ったわけですので、今知った中では、割とぼんやりとしているなというふうに思いました。

それで、あと、この事業の成果目標と調べ方について伺います。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 今回、インバウンド観光客の受入れ環境整備のモデル事業ということで、事業完了後に、参加いただいた店舗から感想などをフィードバックいただきまして、それを一つの成果としまして、次の展開につなげていきたいという具合に考えているところでございます。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 こういったインバウンド推進事業というのは、米子市に対する経済効果というものを狙ったものが最終目標ではないかと思っておりますので、そういったものにつながるような数字をきちんと集めて、次につながるモデル事業にさせていただかないといけないのではないかと思います。どうしても観光に関する事業というのは、私の印象では、ふんわりとしていて、目的も成果もはっきりと数字でお示しいただいてないというような印象がありますが、市民の方からも、米子市は取り組んでいるが、うちの店には誰も外国人は来られないし、町なかでも全く見かけないんだけど、そういったことかというような、たしか総合計画の審議会での審議員の御意見だったと思うんですが、そういった印象を持っておられる市民の方からすると、何のために税金を使っているんだろうという疑問を持たれるのは当然かなと思いますので、そこら辺り、何のためにこの事業を自主財源を使ってやるのかということ、その成果がこういったものであるということが、市民にきちんと説明ができるような準備をして取り組んでいただきますよう要望しておきます。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

中田委員。

○中田委員 本会議でも申し上げましたが、現在はディープなやつじゃないとこっちに来んというのは、どこから入国するかっていう量が、東京と大阪と中部と、一部九州、ここから圧倒的の量が入ってくるので、山陰に来るっていうのはディープになるわけです。

やっぱり本会議でも私、申し上げましたけど、これからの成長産業で、しかも裾野の広い、先ほどあった、裾野の広い成長産業として捉えたときには、いかにこの米子空港だったり、境港だったり、そういったところの入り込みをつかんで、帰るときは大阪でもいいじゃないですか、例えば。だから、どこから入国してくるかっていう仕掛けがきちっと連動して、それに対応できるということが私は必要だと思います。このメニューなんかもぜひやってほしいんですけど、例えば、私も毎年京都に行ってるときによくそういうところの場に接するんですけど、和食店とかおばんざい屋とかで、メニューでお品書きだけ見ても分からない人っていうのはいっぱいいるんですよ。横で食べてる私のやつを、こうやって、ねえ、これは何ですかって言う人がいっぱいおるわけですよ。だから、必ずしもスマホで全部対応できる状態ではないんですよ、今ね。やっぱり、どうやって、こっちが優先的な情報を台湾だとか韓国だとか中国だとかに伝えて、それが米子を目指して、米子の入りで入ってくる、この地の入りで日本に入ってくるっていう仕掛けがどれだけつくれるかにかかっていると私は思っているんで、そういったところにインバウンドの視点をぜひ置いていただいて、そのメニューの補助とか、どんな、タブレットでこうやって見るのは居酒屋なんかかなりそういう状況になっていきますけど、それだけではなくて、それこそ、さっき言ったようなおすし屋さんとか、和食屋さんとか行くときには、そういう傾向が大量な観光地でもあるので、そこら辺はぜひ、またいろいろ成果のあるものを応援してあげていただきたいと思います。要は、情報発信の素材にも役立つような、何か取組を進めていただければと思います。これは要望しておきたいと思います。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

門脇委員。

○門脇委員 添付資料っていいですか、説明資料、議案第113号の土地改良事業位置図（債務負担行為）と、この地図の中で赤い四角で囲ってあります。ここ、土地改良事業ということでございますけど、具体的にどういう事業内容か、教えてやってください。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 以前からやっております中海沿岸のかさ上げ事業でございます。その、事前にさせていただいて、工事残土等を準備させていただくということで、債務負担行為を上げさせていただいております。

○西野分科会長 門脇委員。

○門脇委員 今、ここを四角で囲ってあるわけですけど、ここがかさ上げっていうことは、多分排水不良でなかなか水が抜けないとか、そういうところだと思うんですけども、この事業、周辺に広げていくような、そういう計画はございますか。

○西野分科会長 深吉農林課土地改良担当課長補佐。

○深吉農林課土地改良担当課長補佐 先ほどの周辺に広げていくかという話でございますけれども、現在、周辺で実際に3件ほど、うちうちもという要望がございまして、それに対応するという形で、今、要望を受け付けてやっていってるという状況でございます。

○西野分科会長 門脇委員。

○門脇委員 この辺も耕作放棄地が多い場所だと私思ってますので、耕作放棄地になる原因が、農業者の減少っていうのが一番だと思うんですけど、また一方で、圃場の状況が悪い、先ほど言いましたように、雨が降ったり、水が入ったりしますと、なかなか抜けない、

排水不良を起こして作物ができないと、そういうようなところを、もうやっぱり、ここは諦めて、ほかへ行くわっていうやな格好で、そういうところもまた耕作放棄地になっていきますので、圃場さえしっかりしておけば、これからも作物を作っていくたい、続けたい、農業続けたいっていう方もそれなりに一定の数の方いらっしゃいますので、ぜひ、この土地改良事業を近隣の農家さんの事情、要望なんかも聞きながら、事業をちょっと拡大していただきたいなと思っておりますので、これは要望しておきたいと思えます。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午前 11 時 22 分 休憩

午前 11 時 46 分 再開

○西野分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

上下水道局所管について審査をいたします。

議案第 117 号、令和 6 年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 2 回）を議題とします。

当局の説明を求めます。

田中下水道企画課総務担当課長補佐。

○田中下水道企画課総務担当課長補佐 それでは、左上に議案第 117 号説明資料と記載してある資料、画面では、ただいま通知をいたしました資料で御説明いたします。

1 ページ目中ほどの補正の概要の 1、予算規模を御覧ください。収益的収入を 10 万 6,000 円の増額、収益的支出を 2,763 万 4,000 円の減額、また、資本的支出を 215 万 4,000 円の減額といたしております。

主な補正の内容といたしましては、上下水道事業の組織統合に伴う、事務室の移転などに係る費用といたしまして、110 万円を計上しております。そのほか、職員の人事異動等を反映させた実績見込みによりまして、人件費の補正を行うものでございます。

次に、2 の債務負担行為の設定の追加でございます。1 つ目の下水道管路施設修繕工事につきましては、令和 7 年度の年間を通して、管路施設の緊急的な維持補修に対応するものでございます。業者選定や契約事務の前倒しを図るものとして設定するものでございます。

その下の春日地区農業集落排水施設インバーター補修工事につきましては、電気機器などの部品の供給におきまして、全国的にその調達に不測の日数を要している現状を踏まえまして、早期の発注を行うため、来年度実施予定の工事について、本年度から着手できるように設定するものでございます。

説明は以上でございます。

○西野分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないようですので、以上で上下水道局所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午前 11 時 49 分 休憩

午前 11 時 50 分 再開

○西野分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

12月19日の予算決算委員会における予算分科会報告の意見の取りまとめを行います。
報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。御意見ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないということで、それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

午前 11 時 51 分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 西 野 太 一